

2016年5月17日

SEHS Next Tide Workshop 2016

社会経済史学会次世代研究者育成ワークショップ

募集要項

日時：2016年9月17日（日）～ 18日（土・日曜）

会場：東京大学大学院人文社会系研究科 法文1号館

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_01_01_j.html

1. ワークショップの趣旨

SEHS Next Tide Workshop は、若手研究者が研究対象とする地域や時代の枠を超えて議論・交流する機会を提供し、社会経済史学の将来を担う次世代の優れた研究者を育成することを目的とするものです。各報告や基調講演でのディスカッションに積極的に参加して頂ける方の応募を期待します。

今年度から企画委員会で選考した若手研究者5名の研究報告と基調講演のかたちで実施することになりました。その若手研究者の報告に対するコメンテーターと司会につきましては、今回の募集で御応募頂いた若手研究者の中から企画委員会の責任で選考させていただきます。他の若手研究者の報告の内容をしっかりと把握して的確にコメントすることを心掛けることで、他の研究者の成果を評価する力が養成されることを期待しております。

コメンテーターと司会につきましては、企画委員会で選考した後、御本人に御了解を頂いて社会経済史学会のホームページで御知らせ致します。

このように新たなかたちで SEHS Next Tide Workshop は再スタートを切ります。若手研究者の皆様の積極的な参加を心から御願い申し上げます。

2. 対象 大学院博士課程在籍者、および PD・助教クラス。（主対象は、博士論文準備中のもの）

3. 募集人数 20名程度

（応募者多数の場合には選考委員会による選考によって参加者を決定します。）

4. 提出書類

電子ファイル（指定フォーマットに入力してメールで提出）書式 A）個人情報を含むファイル：氏名、住所、所属など書式 B）業績一覧：学会・研究会発表、論文（修士論文を含む）なおテーマに関して予備知識のない方も歓迎します。

5. 書類提出先 社会経済史学会事務局 sehs@kurenai.waseda.jp

6. ワークショップの内容についての問い合わせ 社会経済史学会企画委員 島田 竜登 shimada@l.u-tokyo.ac.jp
西村 雄志 tnishimu@kansai-u.ac.jp

7. 提出期限 2016年07月19日（火曜）（選考結果は8月中旬頃にお知らせいたします。）

8. プログラム

【1日目】

13:00～13:15 N T Wの趣旨説明 沢井 実 (企画委員会委員長・南山大学)

13:15～18:15 セッションⅠ 研究成果発表Ⅰ (外国経済史)

報告者1: 定藤 博子 (大阪大学大学院経済学研究科・博士後期課程)

報告タイトル: 両大戦間期フランスにおけるポーランド人移民労働者と炭鉱業

報告者2: 竹原 有吾 (東京大学大学院経済学研究科・博士後期課程)

報告タイトル: 近代ベルリンの市民社会とユダヤ教徒の企業家精神

報告者3: 小林 和夫 (東京大学大学院人文社会系研究科・PD)

報告タイトル: 19世紀前半の西アフリカにおける輸入綿布に対する需要

☆ 報告とコメントの後、参加者によるディスカッション: 1人あたり90分を予定

19:00～ 懇親会

【2日目】

9:00～12:15 セッションⅡ 研究成果発表Ⅱ (日本経済史)

報告者4: 斎藤 和平 (九州大学大学院経済学研究科・博士後期課程)

報告タイトル: 徳川後期における九州地方商人の廻船経営と商品流通: 天草石本家の事例 (仮題)

報告者5: 佐藤 秀昭 (京都大学大学院経済学研究科・博士後期課程)

報告タイトル: 安定成長期以降における日本資本市場の国際化: 山一証券資料を中心に

☆ 報告とコメントの後、参加者によるディスカッション: 1人あたり90分を予定

13:30～16:30 セッションⅢ 基調講演

報告者: 脇村 孝平 (大阪市立大学大学院経済学研究科)

報告タイトル: 「南北問題」再考—経済格差のグローバル・ヒストリー

※各セッションの詳細・参考文献については後日参加者にご連絡します。

9. 参加費

5,000円 (予定)

10. その他

原則として両日とも出席して頂きます。

以上。

実行委員 島田竜登 (東京大学)、西村雄志 (関西大学)